



あけぼのつうしん

No.93

2025年12月3日発行

〔目次〕

- 特集「色々な校種で学校図書館環境改善サポート」
 - 【特別支援学校】北海道手稲養護学校 ……1
 - 【高等学校】北海道芽室高等学校 ……3
 - 【中学校】島牧村立島牧中学校 ……4
- 道内図書館キャラクター紹介！Vol. 15 ……7
- 図書館活動支援事業レポート
 - 重点サポート（七飯町文化センター図書室） ……8
 - 講師派遣（岩見沢市立図書館） ……10
 - 講師派遣（北空知四図書館合同司書会） ……11
- お知らせ
 - イベント貸出し、テーマ別サポートボックスを使ってみませんか？ ……12

北海道立図書館



特集

色々な校種で学校図書館環境改善サポート

市町村立学校、道立学校の学校図書館も当館の支援対象です。市町村立図書館（室）と同様に電話やメール、そして訪問をして学校図書館活動をサポートしています。今号では「色々な校種で学校図書館環境改善サポート」と題して、特別支援学校・高等学校・中学校での支援事業の様子をご紹介します。

【特別支援学校】北海道手稲養護学校

北海道手稲養護学校からの環境改善サポートのご相談の中心は「配架方法や除籍図書の選書」でした。7月末、職員3名で訪問し、司書教諭の方と力を合わせて配架の改善を行いました。

事前に写真をいただいていたが、実際に書架を見なければ本当の状況はわかりません。天井まで作り付けの書架はとても立派ですが、高い位置の本は子どもたちには手が届きません。また、図書館用としては少し奥行きがありすぎるように感じます。奥に置かれた本は手に取りづらいですし、奥と手前との二重に置かれている部分もあり、使いやすいように並んでいるとは言い難いのが現状でした。

この状況を踏まえ、まずは座学で、除架・除籍について「学校図書館メディア基準」や「学校図書館図書標準」などを参照しながら説明し、今の状態では本がやや多いことを確認。また、配架のポイントの中から「書架に本を詰め込まない・圧迫感を与えない」「背表紙は棚の前に揃える」「最上段は使わない」を今日の改善の目標と設定し、実際の書架改善をスタートしました。



書架のかなりの面積を占めているのは「歴史マンガ」「伝記マンガ」や「ひみつシリーズ」。マンガは子どもに人気だから除架しづらい…という気持ちもわかります。しかし、お持ちした企画支援課所蔵の「最近の絵柄の伝記マンガ」と比較し、マンガでも古すぎる絵柄は、現代の子どもたちには魅力的には見えないことを実感していただき、ひとまず除架することにしました。

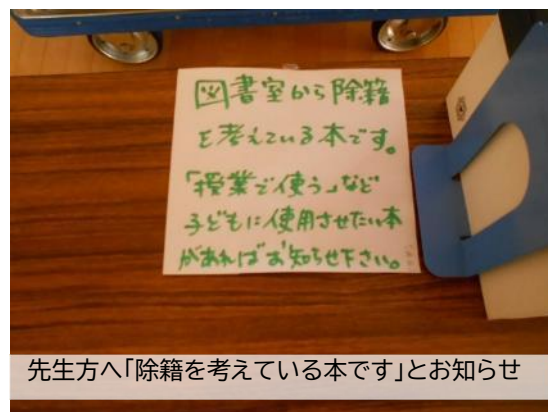
本を減らすことへの抵抗感があるのは重々承知していますが、子どもたちが「読みたい！」と思えるよう、魅力ある書架へ更新することが重要です。前半の座学で確認した「1,000冊の古い本よりも100冊の魅力ある本を！」を合い言葉に、たくさんの本を書架から出し、内容を確認し、必要な本は使いやすさを考えた上で書架に戻すと

■ 特集 色々な校種で学校図書館環境改善サポート

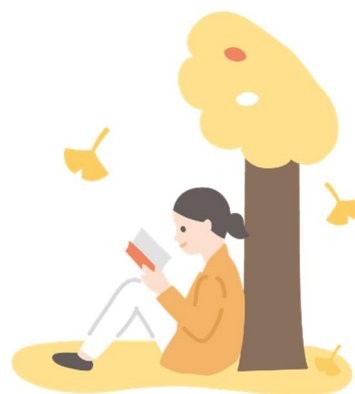
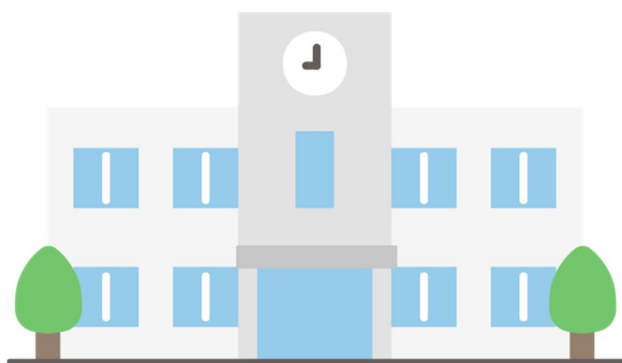
という作業を、0類から5類途中まで行いました。

図書館資料で重要とされている地域資料の多くは、子どもたちの手には届きづらい、書架の上の方に置かれていました。しかし、「地域資料は大切だけれど、果たして本当にこの学校の子もたちに、今、必要だろうか？」という視点で熟考。市立図書館や道立図書館から借受けるという方法もあるので、いったん除架することに。代わりに、写真やイラストが多く、子どもたちが親しみやすく読みやすい本を厳選して残し、手に取りやすい高さに配架しました。

こうして除架した本はすぐに除籍するわけではありません。「授業などで使う本があればお知らせください」と貼り紙をし、除籍して問題ないか複数の目で確認します。授業での使用だけでなく、「この本をととも気に入っている子どもがいるから残したい」ということも、先生方がよくご存じのはず。図書館担当者だけでなく、学校全体を巻き込んで図書館資料のことを考える機会づくりとしても有効です。



訪問時間には限りがあり、全ての書架を改善することはできませんでしたが、たくさんの本を書架から抜くことでスペースが空き、必要な本を再配架することができました。また、棚板の高さを変えたり、本を手前に並べたりしたことで、ぐっと使いやすくなったはずです。面出し展示も組み込むことでイメージも変わり、親しみやすさも演出できる書架になったのではないのでしょうか。後日いただいたメールにも「機能不全に陥っていた壁側の書棚が、かなり利用しやすくなりました」とあり、短時間でしたがお役に立てたようでホッとしました。引き続き学校のみなさん一緒に、魅力ある図書館づくりを進めていただければと思います。



【高等学校】北海道芽室高等学校

「古い本が大量にあり、苦慮しています」というご相談内容で「学校図書館環境改善サポート事業」を利用いただき、7月下旬に北海道芽室高等学校を訪問しました。

【事業前日】

大量の除架希望とのことでしたので人手が必要ですが、今回は夏休み期間での事業実施となるため、学校図書館に関わっている先生や図書局の生徒たちにもお手伝いいただけるとのこと。また、事前にメールで図書館の写真を送っていたり、電話で現在の状況をお伺いしたところ、レイアウトの検討もしているとのことでしたので、事業前日に図書館を見せていただき、現地での打合せの上、改善の方向性を確認することとしました。



実際に伺ってみると、学校図書館前の廊下にはすでにたくさんのPOPや図書局だより『智慧の庭』の掲示や本の紹介が行われていました。

また、図書館の中にも、司書教諭の先生が生徒たちにおすすめする本が所狭しと飾られていました。

「所狭し」。・・・そう、先生のお悩みどおり、書架にも多少のスペースはありましたが、びっしりある図書におすすめ本が若干押し出されている印象も受けました。

閉架スペースにはさらに、横積みになるほど古い本がびっしり詰め込まれており、確かに除架した資料の置き場所にご苦労されているようです。

【事業当日】

事業当日は、次の日程で行いました。

時間	内容
[9:00~15:30]	【環境改善サポート】
9:00~ 9:20 (20分)	① ミニ講座
9:30~12:20(110分)	② 除架・掃除
13:30~14:50 (80分)	③ 再配架・整理
15:00~15:30 (20分)	④ 掲示・飾り付け

表紙を見せている棚もありますが、かなり古い本もまだまだ書架に入っています



全員が集まる前に、担当の先生とどのように除架をしたいかの最終確認を行いました。また、この日は長い1日になるので、少しでも雰囲気や和らぐよう、早めに来ていた生徒と雑談をしてみました。「(道立図書館) 普段はどんな本を読むの?」「(生徒)ほとんど読まないで

■ 特集 色々な校種で学校図書館環境改善サポート

す」「(道) (!?)」、「(道)どんな図書館だったら毎日来たい?」「(生)ふかふかの椅子があるといい。今の椅子は固いから」など、みなさん素直に話してくれました。

始める時間になり、スライドを使ったミニ講座で学校図書館の基本や除架・除籍について学んだあと、早速除架の担当をする棚を全員に割り振り、作業に入りました。

「自分だったらもう手に取らない本」を、先生も生徒も除架することで、授業に使える本、本当に読みたい本が厳選されてきました。(この日参加できなかった先生に、あとで本当に選んだ本を除架して良いかどうかなど最終確認をすることも必要です。)



雑巾で棚をきれいにし、分類順に並べ、一番上の棚など空いたスペースには表紙を見せて並べます(「棚みがき」)。みんなで作業することで、前よりもっと学校図書館に愛着をもってくれたでしょうか。

ふかふかの椅子はすぐには難しいですが、自分たちの手できれいにした学校図書館を、今後も自分たちで居心地良くし、今より多くの本が読まれるようになってほしいと思います。

【中学校】島牧村立島牧中学校

島牧村立島牧中学校は全校生徒 24 名の島牧村唯一の中学校です。「使いやすい図書館にするためのアドバイスがほしい」との思いから学校図書館環境改善サポートのお申込みをいただきました。

学校の担当教職員の方 2 名に立ち会いいただき、8 月上旬にお伺いしました。普通教室の目の前にある学校図書館は、書架にびっしりと隙間なく本があり、文庫本は廊下の書架にも置いてありました。ところがその多くは平成以前の古い本です。それらが書架を圧迫し、新着図書の行き場がなくなっていましたので、除架が最重要課題でした。

また、生徒玄関横のオープンスペースにも、本と読書のできる空間がありますが、生徒の利用は少ないとお悩みでした。

■ 特集 色々な校種で学校図書館環境改善サポート



夏休み明けにリニューアルされた図書館が生徒たちの目にとまってほしい！と意気込み、さっそく除架作業へ取りかかりました。

まずは汚れが目立つ状態の良くない本や、明らかに情報が古くなっている本を除架しました。約半日で図書館の机の上は除架した本でいっぱいになりました。



その後、教科ごとに配架されていた本をNDC分類ごとに分け、配架場所を大移動しました。北海道に関する本や生徒の関心を引きやすいマンガ、アニメに関する本は別置しました。大量に除架したおかげで書架にゆとりができ、本を面出し展示したり、今まで隠れていた壁の絵を活用したりすることができるようになりました。

新しい本や備品を購入したわけではありませんが、雰囲気が変わったように感じます。

■ 特集 色々な校種で学校図書館環境改善サポート

作業後の書架の様子



生徒の関心の高いアニメ関係の本・マンガの本はあえて奥の方に別置しました。

→

←北海道に関する本は別置しました。島牧、後志地方、北方領土やアイヌ民族に関する本もこちらに。



表示は担当職員の方が作成 →



←大量に除架したことで書架の絵が見えるようになりました。



廊下の文庫本の書架も除架し、ゆとりができました。

担当の先生と表紙や作品の知名度を吟味しながら、数冊を面出ししました。

→



時間が足りずオープンスペースの本を整理するところまでは至りませんでした。絵本やガイドブックなどさっと読める本を置くことをご提案しました。

後日、担当職員から、除籍作業の進捗と整備後の様子の写真、そして「魅力的な図書館に整いました。本当に感謝です。」との嬉しいご連絡をいただきました。

当館のサポートが島牧中学校の図書館の良さをより引き出す一助となっていれば、幸いに思います。

道内図書館キャラクター紹介！

Vol.15

HP や SNS での広報活動のほか、オリジナルグッズの作成などにも力を発揮する図書館キャラクター。道内各地域で活躍中の、個性豊かなキャラクターたちを紹介します！今回は、**標茶町図書館**からご寄稿いただきました。ありがとうございます。



ブックロウ

ほんぎつね

標茶町図書館



標茶町図書館では、平成 26 年 2 月より、蔵書管理システムによる貸出を開始し、同時に利用者カードを作成・配布しました。当初はフリー素材のイラストを使用したデザインでした。この利用者カードの裏面には、図書館の開館時間等の情報も印字していました。

令和 3 年 4 月より、開館時間の変更に伴



▲その他のデザイン

い、すべての利用者カードを再発行することになりました。再発行するにあたり、標茶町在住の漫画家さとうゆきさんにイメージキャラクターのデザイン

をお願いすることになり、5つのキャラクターが誕生しました。そのうちブックロウのキャラクターを新しい利用者カードのデザインに使用することになりました。このキャラクターは図書館の広報誌等、さまざまな場面で使用しておりましたが、令和 6 年に名称を公募することになり、5つのキャラクター



のうち2つに絞り、町広報誌への掲載や図書館や学校でのチラシの配布、ホームページでの周知等を行い、令和 6 年 9～10 月までの期間で募集を行いました。合計で 40 名の方からの応募があり、さとうゆきさん、図書館協議会委員 5 名、標茶町教育長、図書館職員 2 名の計 9 名で「図書館らしさ」「親しみやすさ」「覚えやすさ」「オリジナリティ」の 4 項目各 5 点満点で評価し、総合点により決定しました。なお、同じ名前でも、かたかな・ひらがな等で表記が違うものはそれぞれ別に採点しました。個性あふれるネーミングの中から、「ブックロウ」と「ほんぎつね」の名称が選ばれ、採用された応募者には、賞状と記念品が贈呈されました（令和 7 年 1 月 18 日の『釧路新聞』に記事掲載）。名称が決定し、「ブックロウ」と「ほんぎつね」は図書館を盛り上げるためにますます活躍しております。今後も、行事の記念品として缶バッジの作成や、シールの作成など、さまざまな形で活躍してもらう予定でおります。これをきっかけに図書館により親しんでもらいたいと思います。「ブックロウ」と「ほんぎつね」をぜひかわいがってあげてください。



▲▼職員の方のお手製作品！



ペーパークラフト

■ 図書館活動支援事業レポート

◆◆重点サポート◆◆

移転・再オープン
おめでとうございます！！

重点サポート (七飯町教育委員会・七飯町図書室)

重点サポートが3年目となる七飯町地域センター図書室は、施設の老朽化により、令和7年3月末で閉室、町内にある文化センターに移転し、5月7日に再オープンしました。

7月24日に職員2名で訪問し、今年度初めての重点サポートを行いました。



初めに移転先の図書室を見学させていただきました。文化センターのエントランスやホール横のオープンな空間に本を配架した新しい図書室は、開放的で既存の施設にマッチしており、ホールや貸館があるため町民の来館も多く、以前の図書室の約1.5倍の来室者があり、本も自然と手に取られているようです。図書室には今年の4月から新しい司書の方が1名配置され、新着本や特集棚などが見やすく置かれた本は、ほとんどが貸出中となっていました。



また、冷房のある部屋に絵本と育児書などが置かれた「えほんの森」は、親子で絵本を楽しめるようになっており、この夏の猛暑にも毎日のように利用が絶えなかったとのことでした。

既存の施設に入ったため、棚を置けるスペースに制限があり、以前の地域センターからすべての本を持つてくることはできなかったそうですが、厳選して持ち込まれた本は、かえって利用者の目に魅力的に映るようにも思いました。



文化センターでは、もともとの展示物を邪魔しないよう、低い書架を数多く置いています。センター内に飾られた絵も合わせて鑑賞することができます。

図書館に絵など美術品を飾ることもありますが、その逆で、絵のある空間に本を置くというのもアリですね。



ホール前の書架に映像化された作品の
 原本本、合うと思います！



この日は、現在のレイアウトへの助言や今後の事業についてのご相談でしたが、すでに色々工夫された実践がされており、当館でも、複合施設における図書館の配架の工夫について、新たな発想や気づきを得ることができました。

七飯町ではこの時点ですでにブックフェスティバル（おはなし会や古本市など）や読書週間のイベントを企画しており、これからも新しい図書館の活動をアピールしていくとのことです。

今後は、町民の作品展示などをするギャラリースペースを生かした棚づくりや、児童書の配置の工夫、図書館の活動を活性化させるための方策などについて、引き続き検討の支援をさせていただく予定です。



町内の学校だよりも掲示されており、
 町の情報センターの役割も

◆◇市町村支援事業（講師派遣）◇◇

**ボランティア向け研修会
（岩見沢市立図書館）**

今回のテーマは「図書館でおはなし会をするとき注意すべき著作権」と「読み聞かせに使用する絵本の選び方」の二つです。ボランティアさん向けの研修は初めてです、と事前にお聞きしていただきましたので、親しみやすさを意識したスライドを準備し、6月下旬に岩見沢市立図書館へお伺いしました。

前半は「読み聞かせと著作権法」と題して座学形式の研修を行いました。岩見沢市立図書館のボランティアさんは精力的に活動し、楽しいおはなし会となるようさまざまな工夫をされています。だからこそ、著作権に留意したうえで存分におはなし会を盛り上げてほしい！と思いを込めて、約30分の説明をしました。質疑応答では活発な質問があり、関心をもっていただいたように感じました。



少し難しい著作権のお話ですが、イラストやクイズを交えたスライドを使用して説明しました！！



後半は「読み聞かせの絵本の選び方」として、役立つサイトや本及び雑誌を紹介しました。さらに岩見沢市立図書館のOPACを使用した蔵書検索についてお話した後、実際に閲覧室の検索機で絵本の検索に挑戦しました。不安そうに検索機をのぞき込んでいた参加者も、岩見沢市立図書館の職員のサポートを受けながら、目的の絵本を検索することができるとぱっと明るい表情になりました。



絵本選びの参考になる本や雑誌をご用意。合間の時間に自由に手に取って頂きました。



サポートを受けながら検索に挑戦！

今回の研修内容が少しでも今後のボランティア活動のお役に立てていれば幸いです。

初めての研修会、お疲れさまでした！

北空知 四図書館合同司書会・講師派遣及び情報交換 (秩父別ファミリースポーツセンター)

北空知に位置する深川市・秩父別町・北竜町・沼田町の四つの図書館で構成される「北空知四図書館合同司書会」は、それぞれの図書館の抱えている課題について情報交換を行う場です。今回のテーマ「地域資料」についての助言が欲しいということで、当館から北方資料室の職員を含め3名で伺いました。

単に相談を受け、それに対して回答するという場ではありません。参加館はまず、道立図書館が事前配付した地域資料に関する資料を参照した上で、自館についての「地域資料サービスの現状」シートを作成しています。ここで「わがまちの“推し”（特色）」や「地域に関する特色ある所蔵資料」、「地域資料の活用例やPRの方法」といった項目をまとめ、自館における地域資料の位置づけを客観的に確認します。同時に「地域資料の収集チェックシート」で現状を把握した上で当日に臨み、他館との情報交換を行います。これにより、一方的な講義のような形式ではなく「一緒に考える」時間となるのですが、参加者からは事前にしっかりと提出があり、当日に向けた意気込みが感じられました。

情報交換の話題は「どの範囲までを『地域』資料としているか。どのように収集し、除籍しているか」「巻物などの立体物はどのようにリスト化すべきか」「新聞広告はどのように保存するのが良いか」「パスファインダー作成はどのように進めればいいのか」など多岐にわたり、それらについてお互いの館の状況を報告し合い、課題の解決を探りました。また、道立図書館はひとつひとつの事例に対し、「他がどうしているかではなく、自館がどうすべきかを考えることが大切」「活用すること・使用してもらうこと・公開することが重要」等、積極的な助言を行いました。

近隣の図書館同士で悩みを相談し合い、意見を交換し合いながら解決策を探っていくという、短時間ながらも非常に意味のある会だったと感じます。道立図書館からの講師派遣が課題解決のための一助となりましたら嬉しく思います。



イベント貸出し、テーマ別サポートブックスを使ってみませんか？

イベント貸出しとは…

道立図書館では紙芝居・大型紙芝居・大型絵本・エプロンシアター・パネルシアター・しかけ絵本セット・外国語絵本などイベントを盛り上げる資料を貸し出しています。

図書館でのイベントをはじめ、学校・幼稚園・保育所・健診会場等での行事、ボランティア団体の主催行事などご利用いただけます。

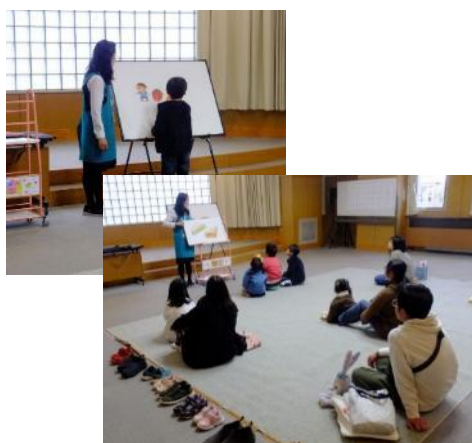
～令和7年度 これまでの活用事例をご紹介します～

清里町「子ども読書の日イベント」

イベントのテーマが冒険だったため、冒険する大型絵本を借りました。

- ・利用資料：大型絵本3冊
- ・参加者人数：子ども45人

未就学児～小学生45名が参加のイベントのため後ろの子どもたちにも見え、聞き入っているようでした。



小清水町「ぬいぐるみのおとまりかい」

ぬいぐるみのおとまりかいでのおはなし会で活用しました。

- ・利用資料：大型絵本2冊・パネルシアター2点
- ・参加人数：大人4人、子ども6人

参加人数は少なかったのですが、おはなし会は盛り上がりました。

参加型のパネルシアターは初めてだったのですが、積極的に手をあげてくれて、とても楽しそうでした。

壮瞥町 第16回壮瞥町図書フェスティバル「展示」

図書室での展示に利用しました。

- ・利用資料：しかけ絵本小セット1セット
- おはなし迷路2点

- ・参加人数：大人42人、子ども46人

しかけ絵本は破損しやすく購入して揃えるのが難しい。今回はお借りしてとても助かりました。来場者の方達が興味津々でページをめくっていたのが印象的でした。



イベント貸出しの詳細内容は道立図書館ホームページで確認できます。
 北海道立図書館 HP > 道立図書館とは > 刊行物 > その他の刊行物等 > 図書館活動支援事業案内 > イベント貸出し
<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/about/qji1ds0000000td2.html#s2>

テーマ別サポートボックスとは…

学校の「朝の読書」や休み時間の読書、調べ学習等で活用できる本をセットで貸し出しています。学校図書館や学級文庫等をはじめ、図書館（室）でもご利用いただけます。

～実際の活用方法や使用した感想をご紹介します～



「体力向上・スポーツフェス」と名付けて、長テーブルに本を広げ、貸出しを行いました。生徒のみならず、先生方が本を手にする事が多く、サポートボックスを利用して良かったです。
〈高等支援学校『体力向上・スポーツボックス』を利用〉

中2で職場体験学習があるため、職業調べの資料の一つとして活用しました。中1～中3各学年に均等に教室に配置して手に取りやすいようにしました。図書室にもコーナーを設けました。

〈中学校『仕事ナビボックス』を利用〉



図書室の児童室にて展示・貸出ししました。
〈図書室『虫セット』を利用〉

先生方からのリクエストがあり、借り受けしました。学級文庫として定期的に入れ替え、各学級に配置し、学校図書館内でも展示に活用しました。外国籍の児童も手に取っており、好評でした。

〈小学校『英語スタートセット』を利用〉



朝読書での貸出しや食育授業との連携、図書コーナーでの展示と貸出しに利用しました。

〈小中学校『食育ボックス』、『体力向上・スポーツボックス』を利用〉

朝の準備が終わった空き時間や昼の読書タイムに活用しました。

〈小学校『朝読・昼読ボックス』を利用〉



図書館内にスペースを設けて期間展示・貸出しを行いました。“放課後児童の居場所”として開放している部屋の横に設置したので、開放日には子どもたちだけでなく、職員も手に取って読んでいる様子でした。

〈図書館『防災・災害セット』を利用〉

図書館（室）でも学校でもいろいろな使い方ができるテーマ別サポートボックス。
詳しい内容は「図書館活動支援事業案内」をご覧ください。
北海道立図書館 HP > 道立図書館とは > 刊行物 > その他の刊行物等 > 図書館活動支援事業案内 > テーマ別サポートボックス

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/about/qji1ds000000td2.html#s2>

編集後記



◆特集「色々な校種で学校図書館環境改善サポート」はいかがでしたか？

中学校・高校・特別支援学校とさまざまな学校にお邪魔しましたが、どの学校も大きな悩みの一つは「除籍」でした。“1,000冊の古い本より100冊の魅力ある本を”を合い言葉に棚を見直して「古い本が書架を占領」している状況から「新しい本が見やすく書架に収まり、面出し展示もできる」ようにするための第一段階の作業と一緒にさせていただきました。今、学習している児童・生徒が使いやすい学校図書館に！という熱い思いを共有し、いろいろな工夫ある学校図書館を見せていただくことができ、大変勉強になる“熱い夏”でした。

さて除籍してしまうと困るのが、本が少なくなってしまうことです。そんな時は「テーマ別サポートボックス」（本号12,13ページ参照）を使ってみませんか？ 自館の蔵書ではこの内容の調べ学習には物足りない、という時などにぜひご利用ください。

◆ 企画支援課では、みなさんの図書館（室）の活動の情報を集めています。好評だった事業、新しく始めた取組、ホームページのリニューアルや日々のエピソードなど、いつでも受け付けています。

『あけぼのつうしん』読後の感想も大歓迎です！

こちらまでお待ちしています→shienka@library.pref.hokkaido.jp



あけぼのつうしん No. 93

発行日 令和7年（2025年）12月3日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <https://www.library.pref.hokkaido.jp/>